



ライオンズクラブ国際協会
336 A地区 2 R - 4 Z

西条

2009年9月号
No. 390

今月のTOPIX

2009-2010 年度

SAIJO LIONS CLUB



4ゾーン合同例会・観月例会



国際会長 エーバールト・J・ウィルフス
 モットー 「WE SERVE (われわれは奉仕する)」
 テーマ 「MOVE TO GROW (個人的成長と会員増強)」
 336-A地区ガバナー 武久一郎

スローガン 「ライオンの未来に、情熱と夢をもってウィ・サーブ」
 キーワード 「初心」
 西条ライオンズクラブ会長 寺尾信司

スローガン 「半世紀の歴史に向かい WE SERVE」
 キーワード 「前進」



『 ガバナー公式訪問 』

幹事 野間賢次郎



8月23日(日)、今治商工会議所において、地区ガバナー公式訪問他各会合が開催されました。午前中の、「第1回ゾーンレベル会員委員会」の神野会員委員長が出席、午後からは、「第1回地区ガバナー諮問委員会」、「地区ガバナー公式訪問」、「リジョン会議」、そして19時より懇親会というハードスケジュールを寺尾会長、明比第2副会長、宮崎会計、神野会員理事、そして私の5人でこなしてきました。ガバナー諮問委員会では武久ガバナーの西条ライオンズクラブへの質問に対し、寺尾会長が卒無く回答されている姿が印象に残りました。帰り際には、私の車のバッテリーがあがり、国際ホテルの従業員の方に御世話になるなど、ハプニングもありましたが、執行部として出席する中でも一番の大きな会合を無事に終えホッとしています。



会議の様子



ガバナーと記念撮影

『 4ゾーン合同例会開催 』

日時：2009年9月1日(火) 於～西条国際ホテル

第2副会長 明比紳一郎



2R地区役員・地区委員の例会訪問を兼ねて、4ゾーン4クラブの合同例会が開催されました。西条市内で活動する4クラブですが、それぞれの例会進行、例会資料、メンバーの個性等、自クラブとの違いが見えてとても良い機会でありました。懇親会の始まりに、偶然にも当日が誕生日だった、我がクラブの高木Lと誕生日前日であった日吉Lが壇上に呼ばれ、大勢の祝いの拍手をいただきました。田中2RCの粹な心配りに、感動しました。和気藹々のムードの中会は進み、互いに尊重しあいながら、切磋琢磨しライオニズムの高揚に共に励もうと「また会う日まで」を唄い、和やかに会を終えました。ホストクラブの西条石鎚ライオンズクラブさん、大変お疲れ様でした。





観月例会

L. 安藤憲正



開会ゴングは鍋蓋の『 ジャーン 』で始まったいもたき例会。早朝清掃奉仕、スポーツ委員会予算と、議案はスムーズに承認され、お待ちかねの湯気の上上がった蓋があく。ここ数年、この観月例会（9月第2例会）は、屋内で開催されてきたが、やはりいもたきは加茂川。雨になるかも・・・と朝から気掛かりであったが、強気なメンバーたちに雨雲も遠慮したようである。

平日頃、紳士然たるメンバーも、いもたき鍋を囲むと少年に戻るらしい。

「もやしのおかわり」、「揚げ豆腐が少ない」、「鶏はいやじゃ」、本物のお月さんの下で西条名物のいもたきをつつきながら『わがまな少年たち』の和やかなひとときは、格式ばった会場や高価なフルコースにはない【 温かさ 】があった。

執行部の段取りに感謝！！



会員短信

【 キレる話 】 L. 越智英明



私が中学生の頃の話だが、酒造りの始まる10月の終わり頃になると、蔵人たちの入蔵と同時に、大工や樽職人たちもやって来て、暫くは、賑やかな毎日であった。当時（昭和30年代）はホーローのタンクがかなり普及していたが、木の樽もまだ使われていた。その修理には、太くて長い青竹を特殊な工具を使って分割し、あれよという間に輪にして樽にはめ込む作業は、見ていても飽きることがなかった。一方、大工はというと、先づ「ノミ」や「カンナ」の刃を研ぐ作業から始まり、樽の蓋や、子の修理など、杜氏らの指示に従い、次々と仕事をこなしていた。特に、研いだばかりのカンナでかけた薄くて長いカンナ屑は、木の香りもよく、一番長いものを、その山から捜しだすのが楽しみの一つでもあった。いつもの様に彼らの仕事ぶりを眺めていると、弟子の一人がこう言った。「大工の道具の中で何が一番よくキレると思う？」、ノミとかカンナとかその他いろいろ言った様に思うが、答えは全く別のもので、彼は黙ってそばにある墨壺を指さしたのであった。私には何のこともさっぱり解らず、困りはてていると、彼は墨壺の糸をずっと抜いてみせた。やっと解った。それは墨壺の糸だったのである。どうりでよくキレるわけだ。今ではその墨壺もプラスチック製が普及し、糸もテグス並に強くなっている。道具も伝電動工具の出現で、作業も一段と早くなっている、そして使い捨ての道具も沢山ある、果たして今のよくキレる道具とは一体何だろう・・・。この話を近所に住む大工に言ったことがある。彼もこの話はその昔、よくしたと言い、実はもう一つキレて困るものがあると言う。 しつこく尋ねると、彼は笑いながら言った・・・

「 小遣いがキレて困る 」と・・・。



偉大なるチャーターメンバー
「加藤 敬ライオン」を偲んで

L. 瀬川大秀

西条ライオンズクラブも来年で50周年を迎えようとしている。
西条市にライオンズクラブを誕生させるため中心となり努力されたのが
加藤 敬ライオンであり、歴史と伝統の礎を築かれライオンズの星として、「燦燦と光り輝く
チャーターメンバー 加藤 敬ライオン」と称しても過言ではありません。
西条ライオンズクラブの歴史と共に歩まれた方であり、その偉大な加藤 敬ライオンが皆様に
惜しまれ、8月9日冥土黄泉の旅に赴かれたのです。

居士は京都大学医学部を卒業され加藤医院を開業、地域の医療に貢献され、西条市の医師会
長を初め、県の役職さらには全国医師会の理事等、数多の要職を歴任されました。
西条市にライオンズクラブを結成された生みの親であり、常々後輩の指導やクラブ運営に的確
に御指導いただいてきました。西条ライオンズクラブ結成式、チャーターナイト時の苦勞話や、
当日は盛大に開催され参加者の皆様に感激していただいた思い出など、親しく話され、クラブ
の発展に心骨を注がれていました。

特に印象に残っているのが【加藤語録】ではありませんが、『ライオンズクラブは日頃の例会
運営は勿論だが、それだけではクラブの醍醐味は味わえない、クラブ一体の全員参加のアクティ
ビティー、さらには周年事業を企画、立案、実行するプロセスに、自然に熱がはいりクラブ会員
が手をつなぎ、心が一つになり、事業を成し遂げた充実感に真髓があるんだよ・・・』と、穏
やかな瞳を通して話されていました。常にクラブ会員の「和」を大切にされ、相手の立場に立ち、
気配りをされていた加藤 敬ライオンの人柄が偲ばれます。

古歌に「年々歳々花相にたり、歳々年々人同じからずや」があります。春が訪れると新しい
花が咲き・・・しかしあの人はいない、人間も大きな命の流れの一部なんだと・・・。
私達の人生も水のごとく流れ、さらに流れ行く水のごとく移り変わる人生を送ります。

加藤 敬ライオンとお別れすることにより、より一層人生の無常感を禁じえませぬ。
願わくば加藤 敬ライオン、極楽浄土より私達を見守り続けていただきますようお願い申し上
げます。最後に、^{むべ}宜なるかな、心海波穏やかに覚山その影を現し、^{とこしなえ}永久に満月の園に優遊され
んことをお祈り申し上げます。

1969年（昭和44年）市内4幼稚園2保育所
児童の血液型無料判定の活性化



1978年度、クラブ通算400回記念例会にて



2003 年度 6 月第 2 最終例会が通算 1000 回の記念例会となりました。加藤先生は、初代～15 代期までの当時の思い出をお話してくださいました。



クラブの特別例会（夏の家族例会や冬の家族例会）には、いつも奥様と仲むつまじく出席くださり、楽しいひとときを過ごされました。



1979 年当時、今から 30 年頃前の特別例会での「かくし芸大会」での模様です。普段は、口を真一文字に結び、若手のメンバーには偉大なる先輩として恐れられていたように聞いていましたが、「やる時はとことんやる！」加藤先生らしい、ひょうきんな一面が昔のアルバムの中にはたくさん収められていました。

いつも凜とした、たたずまいでダンディな加藤敬 L は皆の羨望の的でありました。クラブ 50 周年を共に迎えることができないのが残念です。

加藤 敬ライオン、あなたこそ 真の“ライオンと呼ばれる人”

会員短信

～ その2 ～



『 藤原 武先生を偲ぶ 』

L. 明比昭治



先日（9月13日）西条市総合文化会館で、藤原 武先生を偲ぶ「大正琴の集い」が開催され、感動と思い出に浸ることが出来た。藤原 武先生と言えば西条の教育界・音楽界・文化団体では知らない人がいない第1人者である。

西条出身の歌謡界の歌手として、NHK 紅白歌合戦に出演した、私の同級生であるが「トワエモア」の芥川澄夫さん、今も売れっ子の秋川雅史・・・いずれもが先生は恩師である。藤原 武先生と私とライオンズクラブの関わりは、20年も前に遡る。姉妹提携していたハワイからのお客さんに、日本的な音楽に親しんでもらおうと「大正琴」の演奏をお願いし、打ち解けた空気が醸し出せたことにも端を発する。その後、ハワイの【エアポートライオンズクラブ】にも御世話になり、現地の病院に演奏慰問奉仕や、ニューヨークの【ホストライオンズクラブ】に御世話になり、現地で野外演奏会など、一緒になって国際交流にご協力いただいたことが忘れられないし、かけがえの無い思い出である。言葉の壁を越え、音楽や踊りでの交流を通じ、奉仕の輪と実を上げることが出来たのである。3回忌にあたり、先生のご遺徳を讃え、ご冥福を祈るばかりである。

❖2リジョン親善ゴルフ大会❖

日時:2009年10月3日(土)
会場:今治カントリー倶楽部

クラブを代表し、8名の
選抜メンバーが挑みます。
成績発表は次号掲載の予定です。



～ スポーツ委員会だより ～

9月30日、スポーツ同好会スタート会を開催。
2R 親善スポーツ大会に出場予定は昨年同様2チーム。応援賞とできれば優勝を狙う！
応援団長 花山 / 副団長 近藤(基)
Aチームキャプテン 明比(紳) / 副 高橋
Bチーム 〃 加藤(弘) / 副 伊藤(稔)
全てキャプテンの言う通りにして下さい。
皆さん、どんどん練習に参加して下さい。



【編集後記】

秋になりました。食欲の秋、運動の秋、読書の秋、今年はどうな秋でしょうか？
学生の頃、通学に2時間ほどかかっていたこともあって、電車の中でいろいろな本を読みました。その中に(坂の上の雲)も入っていたのですが、最近話題になっているとのことで、もう1度読み返してみました。新しい発見や感動があり、前に読んだときとは違ったよい印象で非常におもしろかったです。
なかなか、時間がとれないのがつらいですが、また、他の本にも挑戦してみようとおもいます。
食欲の秋にだけはならないように気をつけます。

PR・広報委員会 清水泰雅

発行所 ライオンズクラブ国際協会 336A地区 2R4Z
西条ライオンズクラブ
事務局 〒793-0027
西条市朔日市 779-8
西条商工会館3F
TEL (0897) 56-3980
FAX (0897) 56-9251
E-mail saijo-lc@abeam.ocn.ne.jp

発行者 会長 寺尾信司
幹事 野間賢次郎
PR・広報委員長 土居恵三
編集委員 清水泰雅 ・ 西原 功
加藤 茂 ・ 安藤憲正
塩崎秋義 ・ 伊藤隆治
例会日 第1・第3火曜日
例会場 黒猫レストラン
印刷 西条ライオンズクラブ事務局